

2026 年 8 月 21 日

各 位

会 社 名 : 日 本 エ ン タ ー プ ラ イ ズ 株 式 会 社
代表者の役職名: 代表取締役会長兼社長 植田 勝典
(コード番号 4829 東証スタンダード)
問合せ先責任者: 専 務 取 締 役 田 中 勝
T E L : 0 3 - 5 7 7 4 - 5 7 3 0

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能及び実効性のより一層の向上に取り組むことが重要であると考えております。この一環として、取締役会の実効性に関する分析及び評価を行いましたので、その結果の概要を下記のとおり、お知らせいたします。なお、当社のコーポレートガバナンスにつきましては、当社ウェブサイトで公表しておりますので、ご参照ください。

- ・コーポレートガバナンス報告書 最終更新日：2025 年 8 月 28 日
(<https://www.nihon-e.co.jp/ir/management/governance.html>)

記

1. 評価の方法

取締役会の実効性を評価するため、全ての取締役及び監査役を対象に前回の課題・指摘事項に対する現状の取組状況を報告した上で、取締役会の運営状況（構成、運営体制、審議内容、自由意見）に関する質問票を配布し、その集計結果について取締役会にて分析・評価及び課題の共有を行いました。

2. 評価結果の概要

アンケートの結果、取締役会の運営、議題に関する事項については、各項目とも概ね肯定的な評価であり、適切な議事運営の下、審議が行われており、取締役会の実効性は概ね確保できていることを確認いたしました。また、「株主の権利・平等性の確保」及び「適切な情報開示と透明性の確保」に向けた体制整備、取組状況も概ね適切である事を確認いたしました。

なお、取締役会としての知識・経験・能力のバランス、多様性及び規模に関して概ね確保されているとの評価を得られた一方、取締役会資料を検討する時間の確保、議案に応じた意見交換及び論点の掘り下げに関する議論の充実が必要であると認識し、引き続き取締役会で議論していくことを確認しました。

3. 実効性向上に向けた課題

今回の実効性評価結果を踏まえ、抽出された課題、寄せられた意見については、改善に向けた検討、施策を推進し、取締役会の更なる実効性の向上に向け、継続的な取り組みを行ってまいります。

以 上